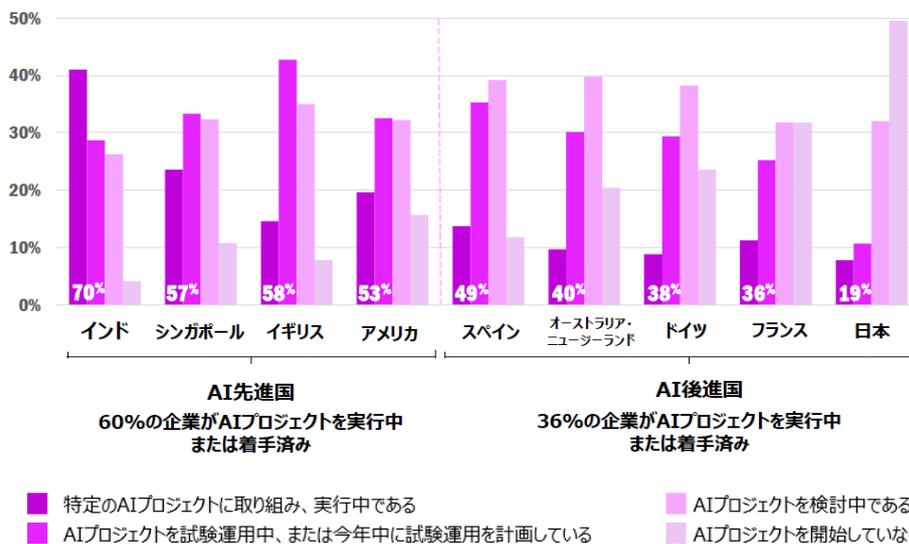


NetApp が「2024 年クラウドの複雑性に関するレポート」を発表 AI 格差により、「変革か没落」の時代が世界規模で到来することが明らかに ～AI 先進国のトップはインド、日本は最下位～

ネットアップ合同会社（本社：東京都中央区、代表執行役員社長：中島シハブ） -- インテリジェントなデータ基盤を提供する企業 NetApp®（NASDAQ：NTAP）は、第2回目となる年次レポート、「クラウドの複雑性に関するレポート」を発表しました。このレポートでは、AI を大規模に導入している世界的なテクノロジーの意思決定者の経験を分析し、AI 先進国と AI 後進国の企業間にある対照的な違いについて分析しています。今年度のレポートでは、昨年のレポートからの進展、企業の AI に対するレディネス、AI の課題と成長スピード、AI 先進国と AI 後進国から学べること、AI を成功に導くための統合データインフラストラクチャの重要な役割についての世界的な洞察などを紹介しています。

AIジャーニーにおける進行度



インドがAIおよびクラウドイノベーションをリードする一方、日本は遅れをとっている

70%のインドに拠点を置く企業が、AIプロジェクトを実行中または着手済み

19%の日本に拠点を置く企業が、AIプロジェクトを実行中または着手済み

AI 先進国と AI 後進国の企業間にある大きな格差

レポートにより、いくつかの分野において、AI 先進国と AI 後進国の企業間に明確な格差があることが判明しました。

- **地域**：AI のプロジェクトの進行度を示す「AI ジャーニー」において**トップはインド（70%）、最下位は日本（19%）**であることがわかりました。AI 先進国（インド、シンガポール、英国、米国）は、平均すると60%がAIプロジェクトを進行中または試験導入中で、対照的であるAI後進国（スペイン、オーストラリア/ニュージーランド、ドイツ、日本）は、平均すると36%がAIプロジェクトを進行、または試験導入しています。

- **業界**：テクノロジー業界では、AIプロジェクトの70%が進行中、または試験導入されており、銀行や金融サービスが55%、製造業が50%と続きます。しかし、ヘルスケア（38%）とメディア、エンターテインメント（25%）などの業界は遅れを取っています。
- **企業規模**：大企業（従業員が250名以上）の方がAIプロジェクトを進めている傾向が高く、62%がプロジェクト稼働中と報告されています。それに対し、中小企業（従業員250名未満）は36%となっています。

NetApp クラウドストレージ部門 ゼネラルマネジャー兼シニアバイスプレジデント Pravjit Tiwana は次のように述べています。「幅広い構造化および非構造化データセットをインテリジェント データ インフラストラクチャに接続、統合するデータ対応ができていない企業は、AI 時代を勝ち抜くのに優れた立ち位置にあります。AI は、その燃料であるデータに依存しています。一般的なハイブリッド IT 環境では、AI 先進国も AI 後進国も、データがより統合的で信頼できるほど AI の取り組みが成功する可能性が高まることが示されています」

AI 先進国と AI 後進国の企業間の AI へのアプローチの違い

- 世界的に、AI 先進国の企業の67%がハイブリッドの IT 環境を有しています。インドが AI 先進国のトップ（70%）となっており、日本は遅れを取っています。（24%）
- AI 先駆者は AI によるメリットを報告する傾向が高く、50%の生産率向上、46%のルーチン業務自動化、45%の顧客体験改善などの報告が挙げられています。

NetApp 最高マーケティング責任者（CMO）の Gabie Boko は次のように述べています。「AI の到来は、時代に変革をもたらすか、もしくは没落する時代をもたらします。広範な構造化および非構造化データセットをインテリジェント データ インフラストラクチャに接続・統合するデータ対応ができていない企業は、AI 時代を勝ち抜きやすいでしょう」

AI に後れを取る企業は、競争力維持のために迅速なイノベーションが不可欠である

格差があるにも関わらず、AI 後進国の AI 向けの IT 環境の準備は著しく進んでいます。しかし、AI 先進国に追いつくことは急激に難しくなりつつあります。

- ドイツ（67%）やスペイン（59%）など、AI 後進国のかなりの数の企業（42%）が、AI 向けに IT 環境を最適化しています。
- 一部の AI 後進国の企業では既に統合データ インフラストラクチャが配置され、下記のようなメリットが見られるとの報告があります。
 - より簡単なデータ共有：スペイン（45%）、オーストラリア/ニュージーランド（43%）、ドイツ（44%）
 - 可視化性の向上：スペイン（54%）、ドイツ（46%）
 - **日本では、組織のデータに対する可視性の向上（33%）の割合がもっとも高く、次いでクラウドとオンプレミスのシステム間でのデータ共有の容易さ（25%）、データがどこにあっても同じツールとオペレーティング システムでデータの制御と管理が簡素化される（24%）、となっています。**

アジア太平洋地域の NetApp CTO クラウド アーキテクチャ Matthew Swinbourne は、次のように述べています。「APAC のリーダーたちは、AI がもたらす効率性と革新性の向上を認識しています。AI 先進国であろうと AI 後進国の企業であろうと、AI への投資から最高のベネフィットを得るためには、AI を導入する前に IT 環境を最適化することが最も重要です」

ITコストとデータセキュリティが最大の課題として浮上—しかしそれは AI の進展に支障をきたさないことが明らかに
ITコストとデータセキュリティの確保は、AI時代における2つの最大の課題となっています。しかし、それらがAIの進化を妨げることはありません。その代わりに、AIリーダーは規模を縮小したり、その他IT業務のコストを削減、また、事業の他の部分からコストを再分配することで、AIイニシアチブに資金を出すことになるでしょう。

- AIリーダーはまた、2024年を通じてクラウド運用（CloudOps）、データセキュリティ、AI投資を増やすとされており、**大企業の40%はAIプロジェクトにより既にITコストが上がっていると回答**しています。
- 前年比で、「増加するサイバーセキュリティリスク」は45%から61%へと16%増加し、その他の懸念は全て減少しています。
- AIプロジェクトのコスト管理のため、世界の企業の31%は他の事業領域からコストを再分配しており、インド（48%）、英国（40%）、米国（35%）が先導しています。
- **日本では、16%の企業がAIプロジェクトによってITコストがすでに増加している**と回答しました。日本の回答者の35%は「サイバーセキュリティリスクの増加」を最大の懸念事項として挙げ、9%はAIプロジェクトのコストを管理するために他の事業領域から資金を再配分していると回答しています。

セキュリティ、AI、CloudOps が 2024 年のクラウド投資を推進

AI先進国かAI後進国かに関わらず、世界の企業は投資拡大につれ、企業の目標達成のためにクラウドに頼っています。

- **AI主導のクラウド導入を増やす企業は、2024年から2030年にかけて19%増加する見込み**です。
- AIリーダーの85%は、今後1年間でCloudOpsの自動化を強化する予定です。
- データセキュリティへの投資の増加は、2023年の33%から2024年の58%に、25%増加するなど、世界的に優先事項となっています。

日本では、クラウド展開の50%以上をAI主導のアプリケーションでサポートする企業の割合が、2024年から2030年の間に7%増加するとされています。また、AIリーダーの約22%が、今後1年間でCloudOpsの自動化を強化する予定です。2024年には、データセキュリティへの投資が重要になると予想され、多くの回答者（64%）が2024年のクラウド投資の意思決定を促すビジネスニーズのトップ3に挙げています。

調査方法

2024年3月、NetAppはSavantaと提携し、10の市場（米国、EMEA（英国、フランス、ドイツ、スペイン）、およびAPAC（オーストラリア、ニュージーランド、インド、シンガポール、日本）の企業で、1,300人以上のテクノロジーおよびデータエグゼクティブに対する数量調査を実施しました。

レポートの全文と解説画像の詳細については、<https://www.netapp.com/netapp-intelligence/cloud-complexity-report/>をご覧ください。

関連情報

- [2024 CLOUD COMPLEXITY REPORT: THE AI DIVIDE](#)
- [2024 Cloud Complexity Report - The AI Divide Infographics](#)

NetApp について

NetApp は、ユニファイド データ ストレージ、統合データ サービス、CloudOps ソリューションを組み合わせ、あらゆる顧客が破壊的イノベーションの世界動向をチャンスに変えることのできる「インテリジェント データ インフラストラクチャ」を提供する企業です。サイロ化しないインフラストラクチャを創出し、可観測性と AI を活用して、最適なデータ管理を実現し

ネットアップ合同会社 〒104-0031 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー

ます。世界最大のクラウドにネイティブサービスとして導入されている唯一のエンタープライズ グレード ストレージ サービスのように、NetApp のデータ ストレージはシームレスな柔軟性を提供し、NetApp のデータ サービスは優れたサイバー耐性、ガバナンス、アプリケーションの俊敏性によりデータの優位性を創出します。また NetApp の CloudOps ソリューションは、可観測性と AI を通じて、パフォーマンスと効率の継続的な最適化を提供しています。データの種類、ワークロード、環境を問わず、NetApp がお客様のデータ インフラストラクチャを変革し、ビジネスの可能性を実現します。

詳細については、<https://www.netapp.com/ja/> をご覧ください。ネットアップ合同会社は NetApp の日本法人です。また、Twitter、LinkedIn、Facebook、Instagram で NetApp をフォローしてください。